

奈良県公共工事等電子入札システム

電子入札システム(Edge(Chromium版)) クライアント環境設定マニュアル

Rev0.2 (令和5年6月)

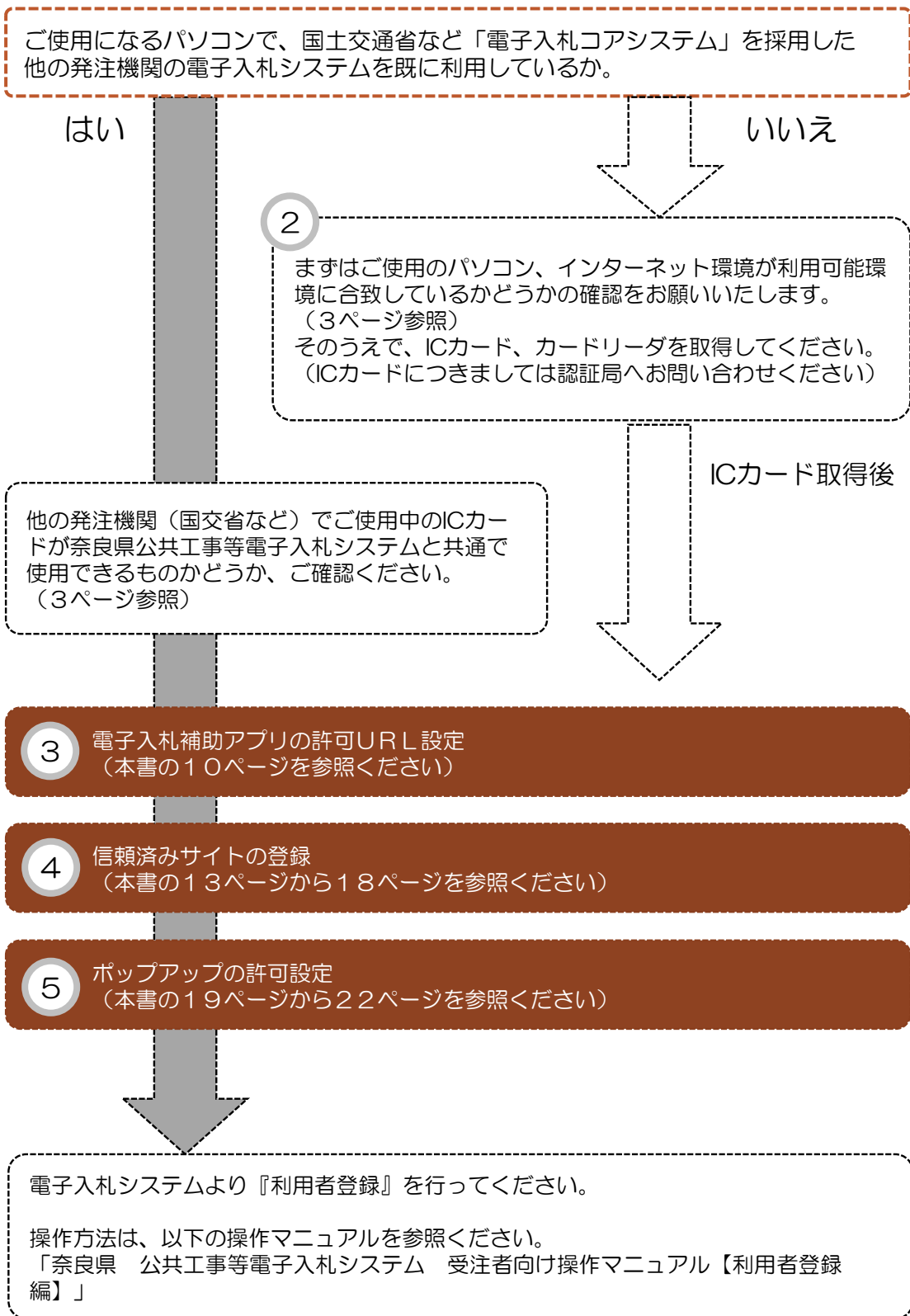
目次

1	電子入札システムの事前の準備の流れ	_____	2
2	パソコン・インターネット環境の準備	_____	3
3	電子入札補助アプリの許可URL設定	_____	12
4	信頼済みサイトの登録	_____	13
5	ポップアップの許可設定	_____	19
6	お問い合わせ先	_____	23

1. 電子入札システム事前準備の流れ

電子入札システムをご利用頂くには、下図手順にある

③～⑥の設定が必要です。





2.パソコン・インターネット環境の準備

奈良県公共工事等電子入札システムは、JACIC（財団法人日本建設情報総合センター）の「電子入札コアシステム」を採用しています。

JACIC（財団法人日本建設情報総合センター）CALIS/EC部（電子入札コアシステム・電子入札について）
→ <http://www.cals.jacic.or.jp/>

奈良県公共工事等電子入札システムをご利用になるにあたって必要なパソコンの環境は、以下の「電子入札システムに必要なパソコン・インターネット環境等」を参照ください。

●電子入札システムに必要なパソコン環境等

パソコン	OSがサポートしているPC/AT互換機（DOS/V）
CPU	以下の機器仕様で動作確認済みです <ul style="list-style-type: none"> ・PC/AT互換機（DOS/V機）であること ・CPU Core Duo 1.6GHz 同等以上 ・メモリ 1.0GB以上 ・ハードディスク容量 空き容量が1ドライブに1.0GB以上 ・CD-ROMドライブがついていること ・シリアルポート又はUSBポートの空きがあること ・1024×768ドット（XGA）以上
対応OS	Windows10（Home/Pro）（32bit/64bit） Windows11（Home/Pro）（64bit） ※ JIS2004は利用できませんのでご注意ください。
対応ブラウザ	Microsoft Edge（Chromium版）
<ul style="list-style-type: none"> ・ご契約の民間認証局のICカードリーダーのソフトウェア条件も合わせてご確認ください。 ・Windows ログインのユーザ名は、1バイト文字（半角英数字）に限ります。 	

●ソフトウェア/ネットワーク環境等

回線速度	64Kbps 以上を推奨
通信プロトコル (通信規約)	<ol style="list-style-type: none">1. HTTP2. HTTPS3. LDAP <p>上記3点の通信プロトコルが全て使用可能なこと。 インターネットを利用する場合には、プロバイダ（ISP）との契約が必要です。 電子入札コアシステムで使用する、以下の通信プロトコルが通過可能なプロバイダをお選びください。 また社内LAN等でファイアウォールを使用されている場合にも、上記の通信プロトコルが通過可能なように設定してください。 詳細はご利用のプロバイダやネットワーク管理者にご確認ください。 ADSL や光回線などの常時接続サービスを推奨します。</p>
電子メール	<p>電子メールの送受信が可能なこと。 各種通知書（指名通知書、落札者決定通知書など）の発行のお知らせは電子メールで行いますので、定期的にメールのチェックを行ってください。 通知書はシステム内で必ずご確認ください。</p> <p>（注意） 電子メールについてはインターネットの回線状態やプロバイダのメール容量制限などの、さまざまな要因により、受信時に事故が起きる可能性があります。 正式な各通知書（指名通知書など）は、システム上でしか確認ができませんので、定期的に電子入札システムにログインしていただき、入札案件及び各通知書の確認を行っていただきますようお願いいたします。</p>
その他	<p>プロキシ及びプロキシサーバ経由での接続は動作保障いたしません。 詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。</p>

Microsoft Edgeの種類にご注意下さい！



Microsoft Edgeの種類について

Microsoft Edgeは2種類存在します。

- (1) 古いEdge - Microsoft Edge (EdgeHTML版)
- (2) 新しいEdge - Microsoft Edge (Chromium版)

奈良県公共工事等電子入札システムの対応ブラウザは、(2) 新しいEdge - Microsoft Edge (Chromium版) です。

古いEdgeと新しいEdge の見分け方

■ デスクトップのアイコンの違い

- (1) 古いEdge・・・   ←非対応
- (2) 新しいEdge・・・  ←対応

■ Webブラウザのバージョン確認

古いEdge



手順①

以下の手順でEdgeのバージョンを確認します。

- ① Microsoft Edge を起動し、ウィンドウ右上の「…」をクリックします。
- ② 「設定」を選択します。



手順②



- ③ 「全般」を選択します。

④ 「このアプリについて」欄に“Microsoft EdgeHTML”の表示がある場合は、古いバージョンです。

新しいバージョンへのバージョンアップが必要です。

バージョンアップ方法は次ページの「■Edgeアプリのインストール」を参照ください。

Microsoft Edgeの種類にご注意下さい！



新しいEdge



手順①

以下の手順でEdgeのバージョンを確認します。

① Microsoft Edge を起動し、ウィンドウ右上の「…」をクリックします。

② 「設定」を選択します。



手順②

③ 「Microsoft Edge について」を選択します。

④ バージョン情報の“このブラウザは、Chromium オープンソースプロジェクトおよび他のオープンソースプロジェクトに基づいて構築します。”の表示がある場合は、新しいバージョンです。

■Edgeアプリのインストール

古いバージョンの場合や、Microsoft Edge (Chromium版) がインストールされていない場合は、以下のURLをクリックして、インストールを行ってください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/edge> (マイクロソフト社提供)

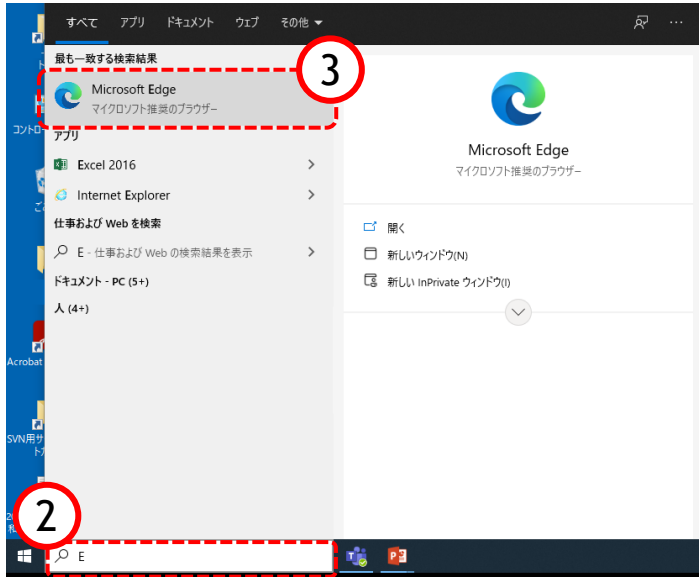




タスクバーにMicrosoft Edgeが無い場合



①「検索」欄を選択します。



②「検索」欄に半角文字でEと入力します。

③検索結果にMicrosoft Edgeが表示されます。
「Microsoft Edge」をクリックします。

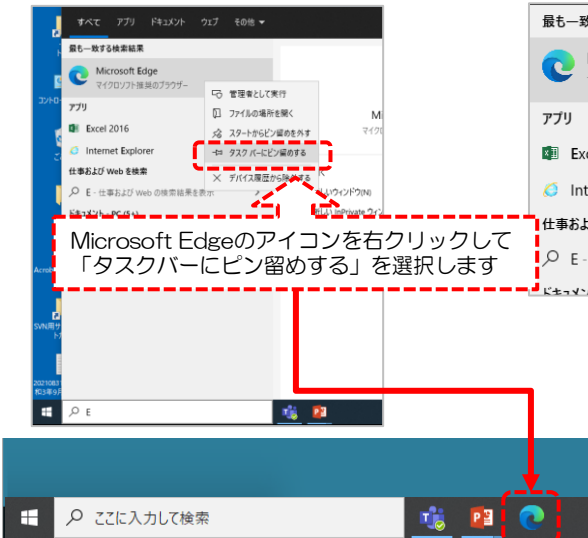


Microsoft Edgeを表示したい度に検索しないといけませんか？

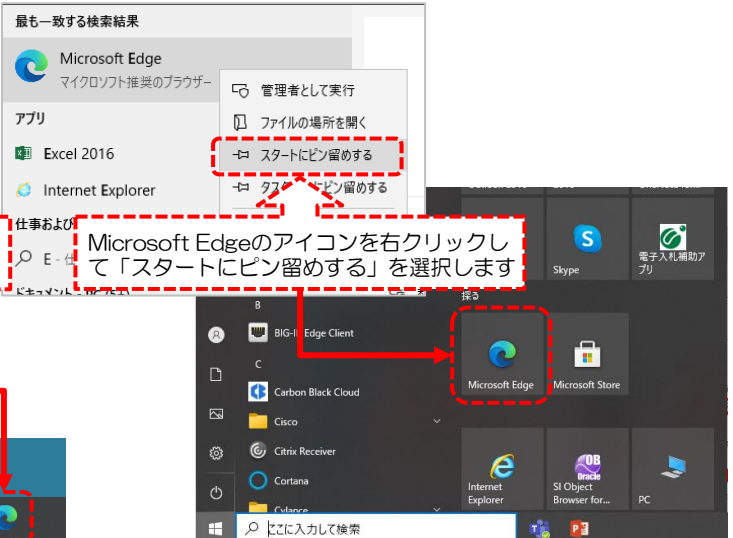
タスクバーまたはスタート画面に固定することができます。

<タスクバーに固定する>

<スタート画面に固定する>



Microsoft Edgeのアイコンを右クリックして「タスクバーにピン留めする」を選択します

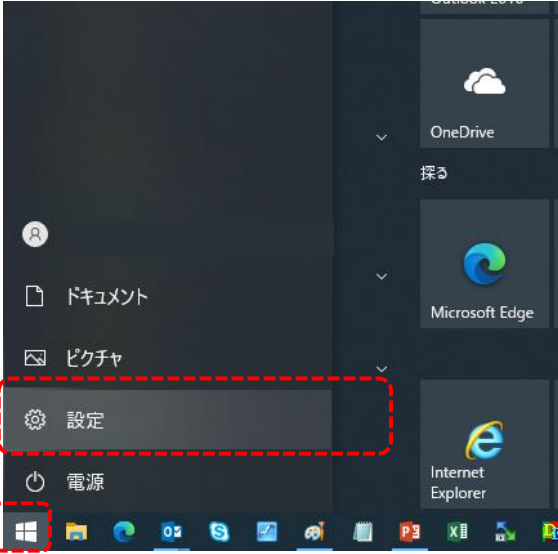


Microsoft Edgeのアイコンを右クリックして「スタートにピン留めする」を選択します



既定のブラウザをEdgeに変更する手順

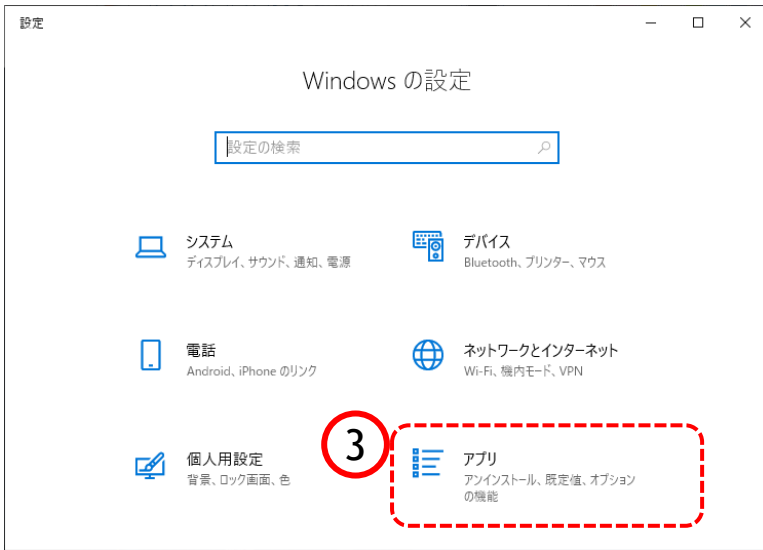
(1) 既定ブラウザをEdgeに設定



手順①

以下の手順で、既定のブラウザをEdgeに変更します。

- ① 「スタート」ボタンをクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。



手順②

Windowsの設定画面が表示されます。

- ③ 「アプリ」をクリックします。



手順③

アプリと機能画面が表示されます。

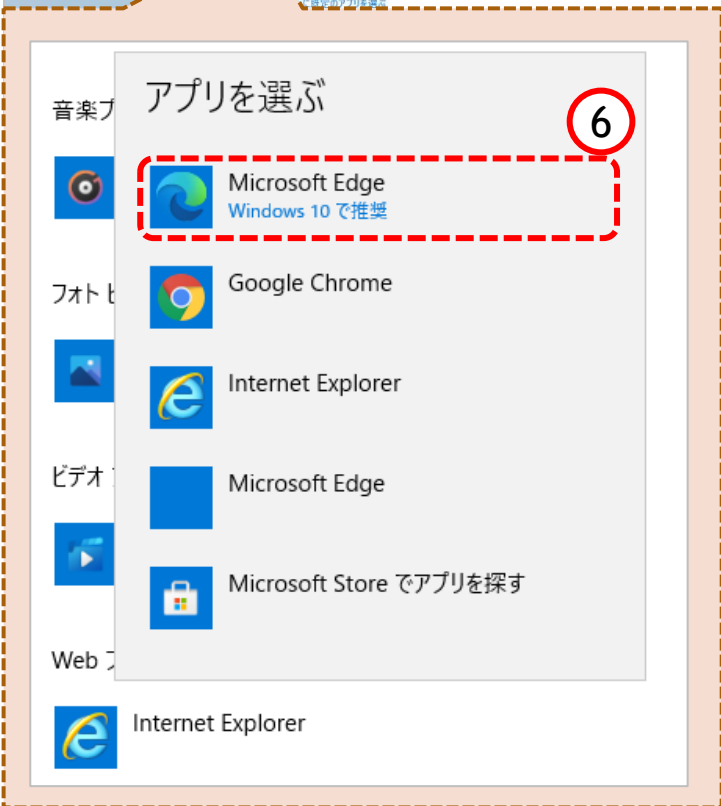
- ④ 「既定のアプリ」をクリックします。



既定のアプリ画面が表示されます。

⑤ Webブラウザ欄に現在設定されているアプリを選択します。

上記画面例では「Internet Explorer」をクリックします。



アプリを選ぶ画面が表示されます。

⑥ 「Microsoft Edge」をクリックします。



既定のアプリ画面に戻ります。

⑦ Webブラウザ欄が、「Microsoft Edge」に変更されていることを確認します。

⑧ 右上「X」ボタンをクリックし、既定のアプリ画面を閉じます。

「Internet Explorer」で電子入札システムを利用されていたパソコンの場合は、次ページの「(2) キャッシュのクリア」を行ってください。

電子入札システムを初めて利用するパソコンの場合は、「3. 電子入札補助アプリの許可 URL 設定」へお進みください。

以上でブラウザの既定をEdgeに設定する作業は終了です。

(2) キャッシュのクリア

ブラウザを「Microsoft Edge」に変更した後、キャッシュのクリアを行います。操作の手順は以下の通りです。



手順①

以下の手順で、Microsoft Edge画面から設定画面を開きます。

- ① 「…」 ボタンをクリックします。
- ② 「設定」 をクリックします。



手順②

設定のプロファイル画面が表示されます。

- ③ 「プライバシー、検索、サービス」 をクリックします。



手順③

プライバシー、検索、サービス画面が表示されます。

- ④ 『閲覧データをクリア』欄の「クリアするデータの選択」ボタンをクリックします。



手順④

閲覧データをクリア画面が表示されます。

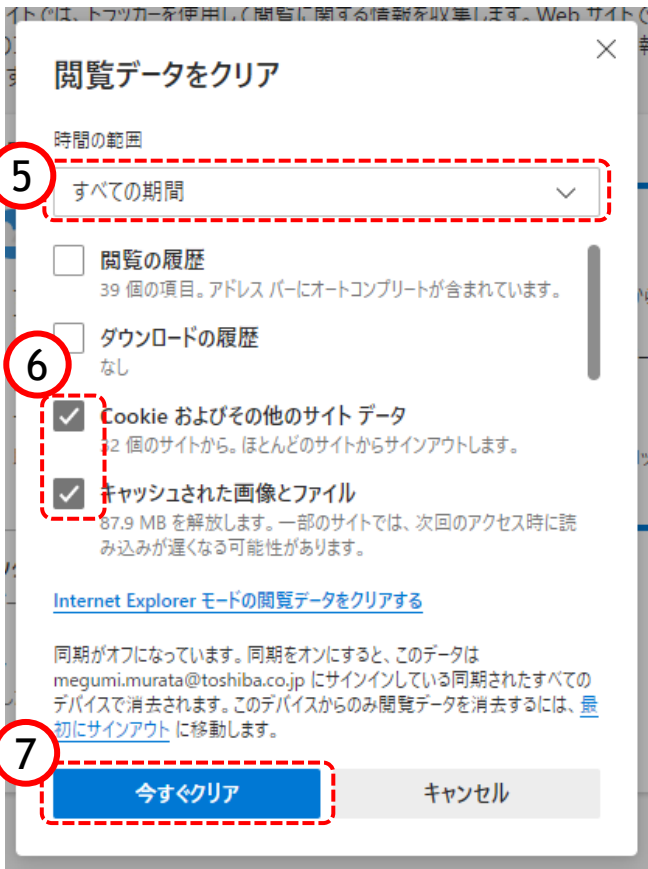
⑤『時間の範囲』項目の「すべての期間」を選択します。

⑥「Cookieおよびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスにチェックをします。

⑦「今すぐクリア」ボタンをクリックします。

データクリアが完了すると、プライバシー、検索、サービス画面に戻るので、右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上でキャッシュクリアする操作は終了です。



3.電子入札補助アプリの許可URL設定

奈良県公共工事等電子入札システムをMicrosoft Edge（Chromium版）でご利用頂くには、電子入札補助アプリの許可URLにサーバアドレス情報を設定する必要があります。

設定方法は認証局より送られるマニュアルをご覧くださいか、
購入した電子入札コアシステム対応の各認証局へ直接お尋ねください。
各民間認証局のお問合せ先は（23ページ参照）

電子入札補助アプリの許可URLに追加する奈良県公共工事等電子入札システムのサーバアドレスは以下となりますので、半角英数字の小文字で正しく入力してください。

※このアドレスは設定用アドレスです。

電子入札システム用 : https://www.ebid05.t-elbs.jp



電子入札システム起動時に以下のエラーが表示された場合



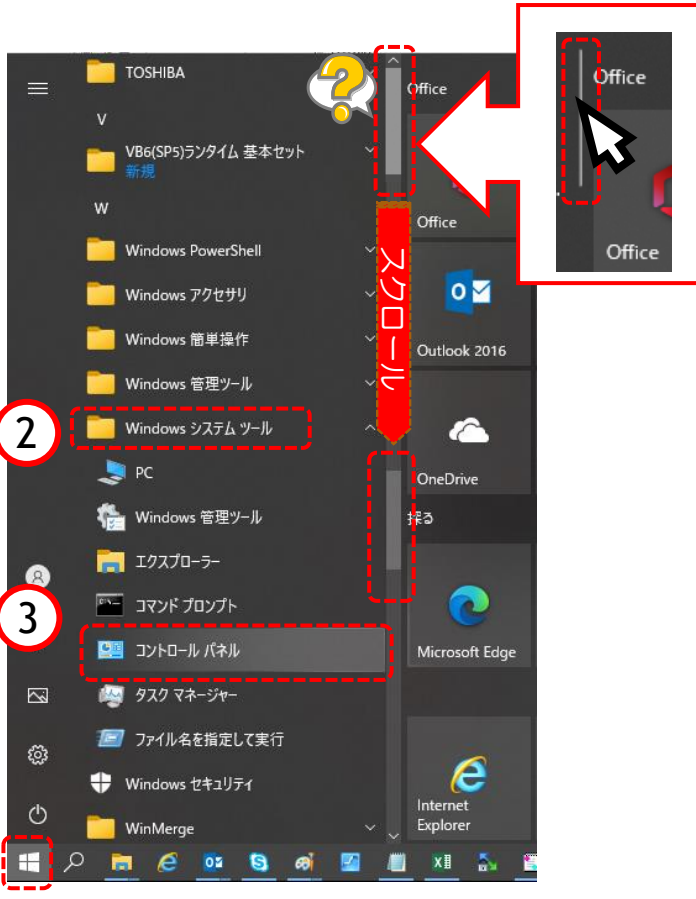
電子入札システム起動時に左画面のエラーメッセージが表示された場合

電子入札補助アプリの許可URLの登録を行ってください。

4.信頼済みサイトの登録

Microsoft Edge（Chromium版）の使用時に、ポップアップブロック、ファイルのダウンロードがブロックされると、電子入札システムが正常に動作しないことがあります。
インターネット オプションより、「信頼済みサイト」に奈良県公共工事等電子入札システムのサーバアドレス情報を登録することにより正常に動作するように設定します。

Windows10の場合



手順①

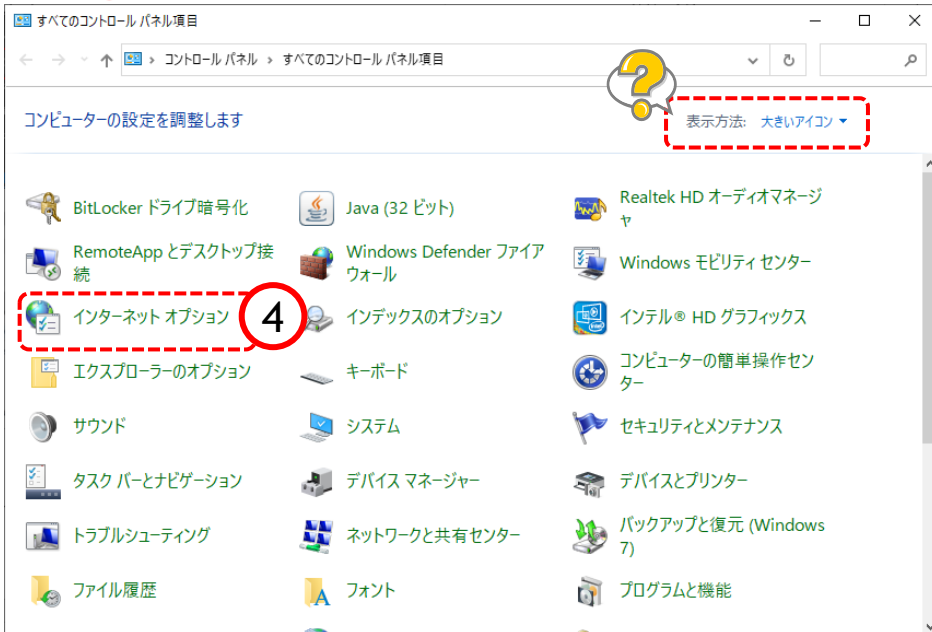
以下の手順で、コントロールパネル画面を開きます。

- ① 「スタート」をクリックします。
- ② 「Windowsシステムツール」をクリックします。
- ③ 「コントロールパネル」をクリックします。



下に移動する場合は、細いスクロールバーに

マウスを当てることで、スクロールバーが太く表示されます。スクロールバーをクリックした状態で下に移動させてください。



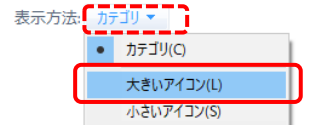
手順②

すべてのコントロールパネル項目画面が表示されます。

- ④ 「インターネットオプション」をクリックします。



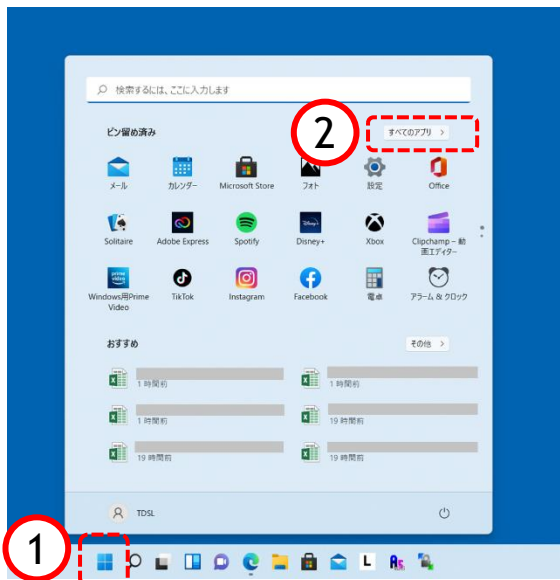
コントロールパネルの表示が左の画面と違う場合は、



表示方法「カテゴリ▼」をクリックして、「大きいアイコン」を選択してください。



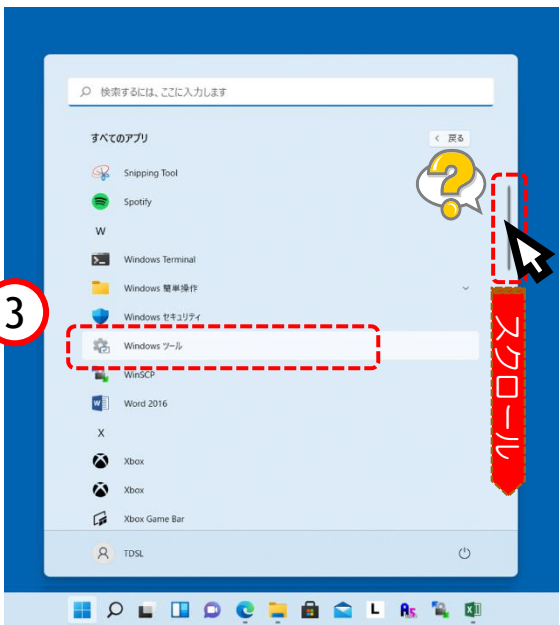
Windows 11の場合



手順①

以下の手順で、コントロールパネル画面を開きます。

- ① 「スタート」をクリックします。
- ② 「すべてのアプリ >」をクリックします。



手順②

- ③ 「Windowsツール」をクリックします。

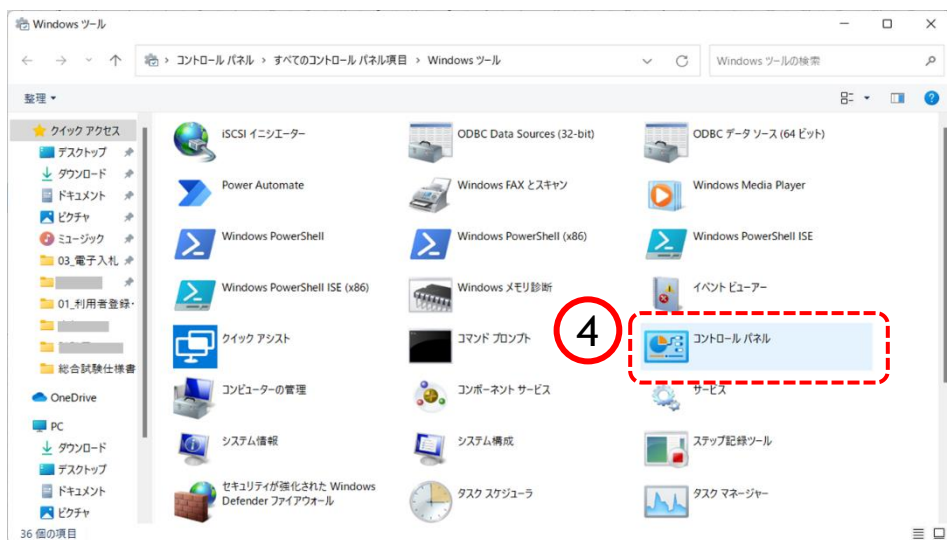


下に移動する場合は、メニュー右端に



マウスを当てることで、

スクロールバーが表示されます。スクロールバーをクリックした状態で下に移動させてください。



手順③

Windowsツール画面が表示されます。

- ④ 「コントロールパネル」をクリックします。



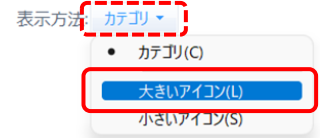
手順④

すべてのコントロールパネル項目画面が表示されます。

⑤「インターネットオプション」をクリックします。

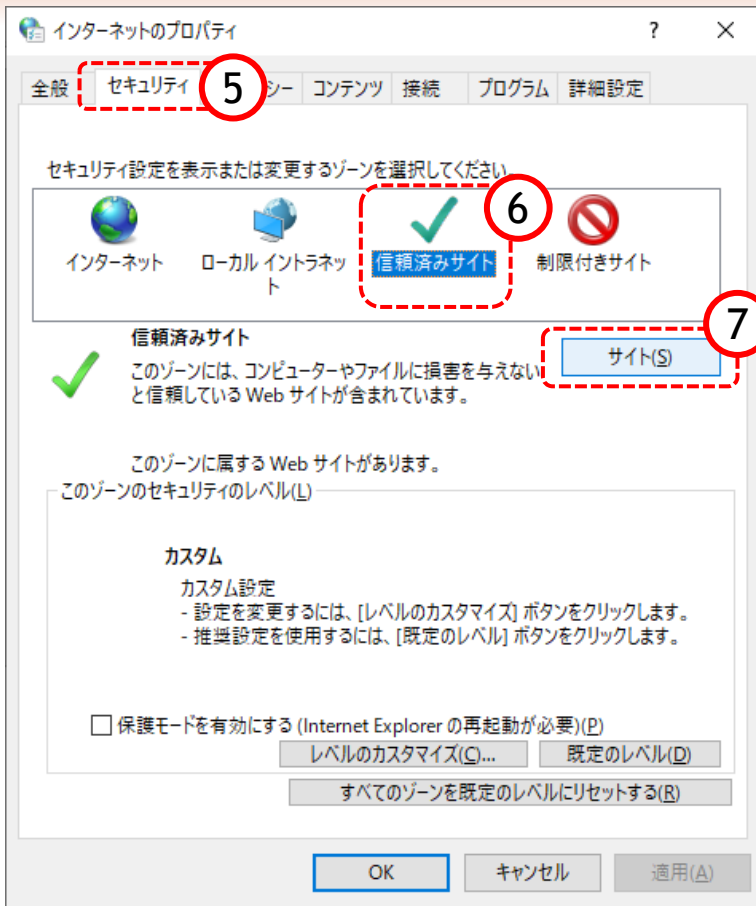


コントロールパネルの表示が左の画面と違う場合は、



表示方法「カテゴリ▼」をクリックして、「大きいアイコン」を選択してください。

以降のインターネットオプションの操作は、次ページへお進みください。



手順③

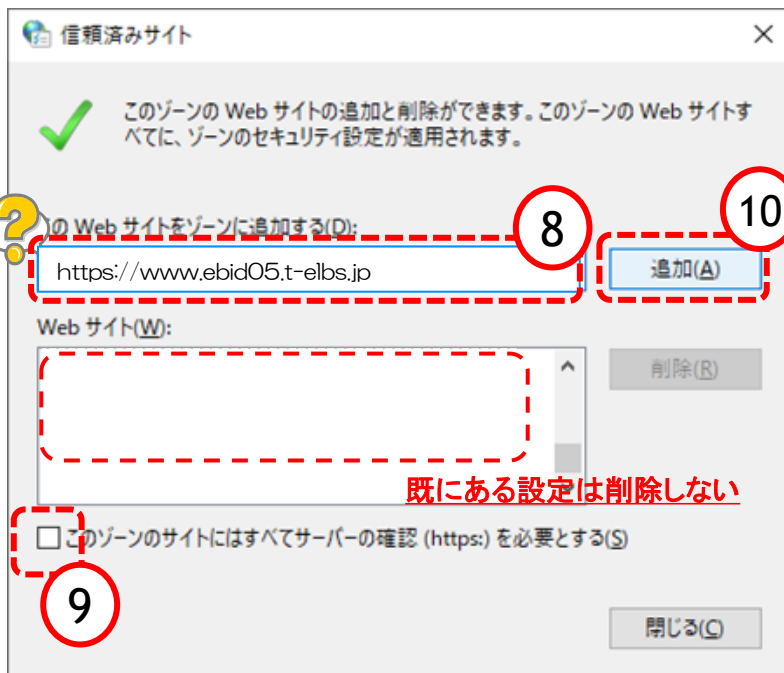
インターネットのプロパティ画面が表示されます。

- ⑤ 「セキュリティ」をクリックします。
- ⑥ 「信頼済みサイト」をクリックします。
- ⑦ 「サイト」ボタンをクリックします。

追加していただくアドレス

電子入札システム用 : <https://www.ebid05.t-elbs.jp>
 入札情報サービスシステム用 : <http://www.ppi06.t-elbs.jp>

↓ 英字のエス ↓ 数字のゼロ
 ↑ 数字のゼロ



手順④

信頼済みサイト画面が開きます。

⑧ 『このWebサイトをゾーンに追加する』のテキスト入力欄にアドレスを入力します。

入力するアドレスは

<https://www.ebid05.t-elbs.jp>

です。

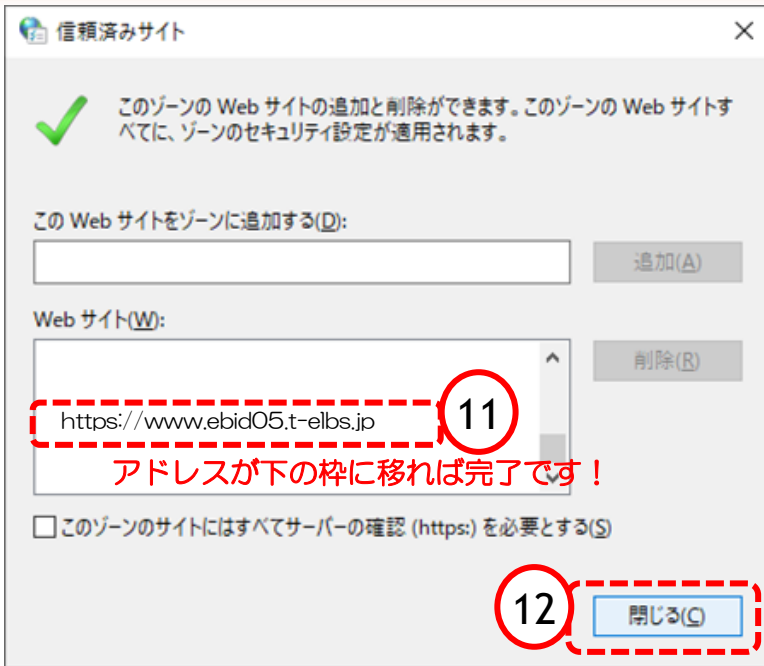
⑨ 『このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https) を必要とする』のチェックを外します。

⑩ 「追加」ボタンをクリックします。



『このWebサイトをゾーンに追加する』のテキスト欄に何か文字が入っている場合は？

削除してから入力を行ってください。
 『Webサイト』欄にあるアドレスを削除する必要はありません。



手順⑤

⑪『Webサイト』の大きな枠に入力したアドレスが入ります。

以上で電子入札システム用のアドレス登録は終わりました。

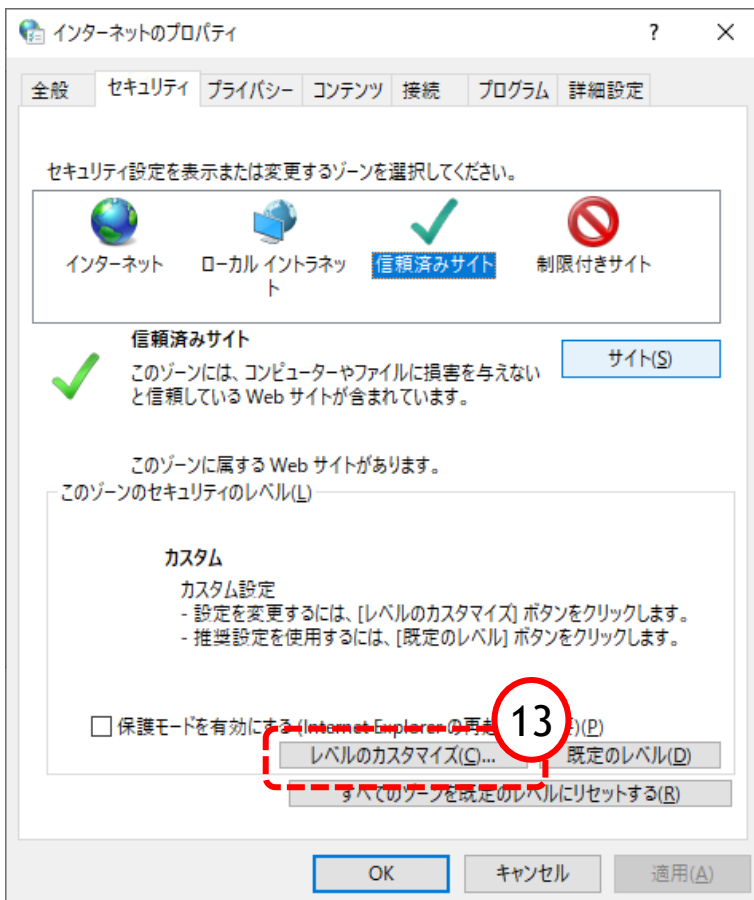
この作業を繰り返し、引き続き、入札情報サービスシステム用のアドレスを入力します。

入力するアドレスは

<http://www.ppi06.t-elbs.jp>

です。

⑫信頼済みサイト画面の「閉じる」ボタンをクリックし、信頼済みサイト画面を閉じます。



手順⑥

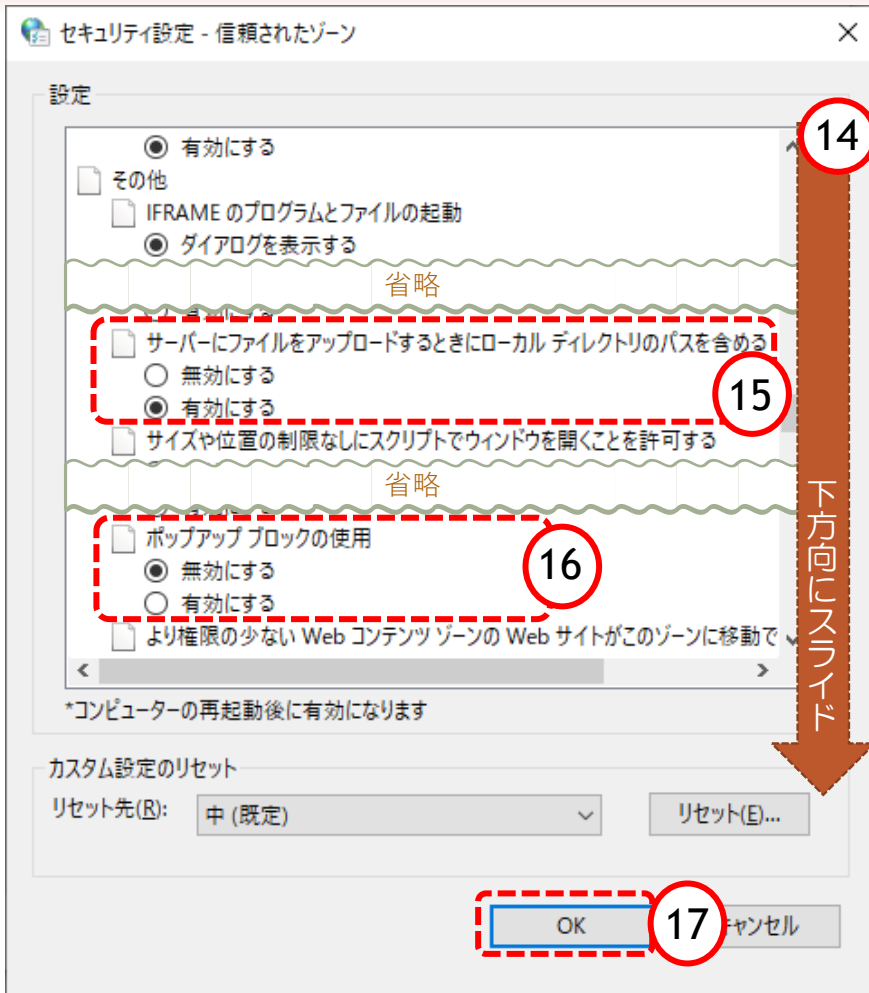
インターネットオプション画面に戻りますので、続けて「信頼済みサイト」に対する詳細な設定を行います。

⑬「レベルのカスタマイズ」をクリックします。



インターネットオプション画面を閉じてしまった場合は？

手順①の要領で「インターネットオプション」の画面を開きます。



手順⑦

セキュリティ画面に戻りますので、続けて「信頼済みサイト」に対する詳細な設定を行います。

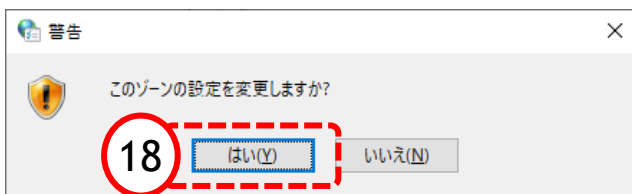
⑭下方向にスライドさせ『その他』という項目を表示させます。

『その他』の中の2項目を設定します。

⑮サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める
→「有効にする」に設定

⑯ポップアップブロックの使用
→「無効にする」に設定

⑰「OK」ボタンをクリックします。



手順⑧

⑱警告画面が出る場合「はい」を選択します。



最後にインターネットオプション画面の「OK」ボタンをクリックし、終了します。

以上で信頼済みサイトの登録は終了です。

5.ポップアップの許可設定

ポップアップブロックが有効になっていると、システムが正常に動作しない場合があります。この章では、ポップアップを許可するためのサイトアドレス登録方法を説明します。ポップアップを許可するためには以下のアドレスを登録します。

追加していただくアドレス

[*.]t-elbs.jp
↑アスタリスク

- 「[」は左角カッコ
(「む」の上のキーから入力可能)
- 「*」はアスタリスク
(Shiftキー+「け」の同時押しで入力可能)
- 「]」は右角カッコ
(「む」のキーから入力可能)

※上記の文字はいずれも半角で入力してください。



半角、全角切り替えキー

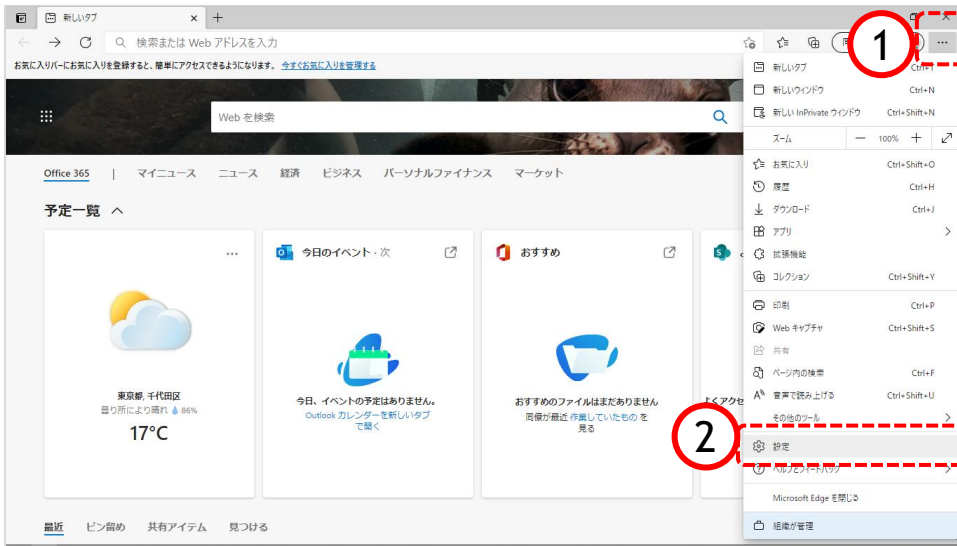
キーボードのキー配列図 (一部抜粋)



[: 左角カッコ

* : アスタリスク

] : 右角カッコ



手順①

以下の手順で、Microsoft Edge画面から設定画面を開きます。

①ウィンドウ右上の「…」ボタンをクリックします。

②「設定」をクリックします。



手順②

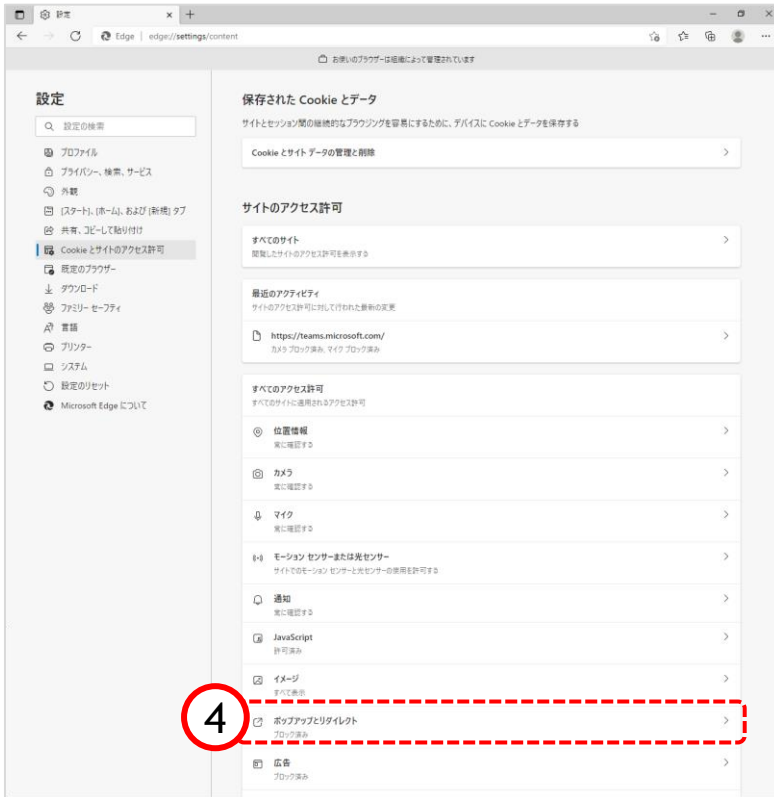
設定のプロファイル画面が表示されます。

③「Cookieとサイトのアクセス許可」をクリックします。

手順③

Cookieとサイトのアクセス許可画面が表示されます。

④「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



手順④

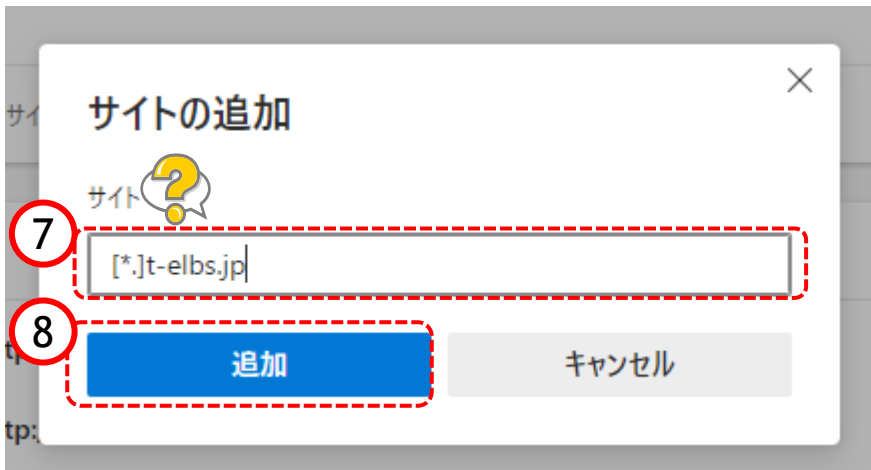
ポップアップとリダイレクト画面が表示されます。

⑤『ブロック（推奨）』欄のスイッチをオンにします。



⑥『許可』欄の「追加」ボタンをクリックします。





手順⑤

サイトの追加画面が表示されます。

⑦『サイト』欄のテキスト入力箇所にアドレスを入力します。

入力するアドレスは、

[*].t-elbs.jp

です。

- 「[」は左角カッコ
(「む」の上のキーから入力可能)
- 「*」はアスタリスク
(Shiftキー+「け」の同時押しで入力可能)
- 「]」は右角カッコ
(「む」のキーから入力可能)

※上記の文字はいずれも半角で入力してください。



半角、全角切り替えキー

キーボードのキー配列図 (一部抜粋)

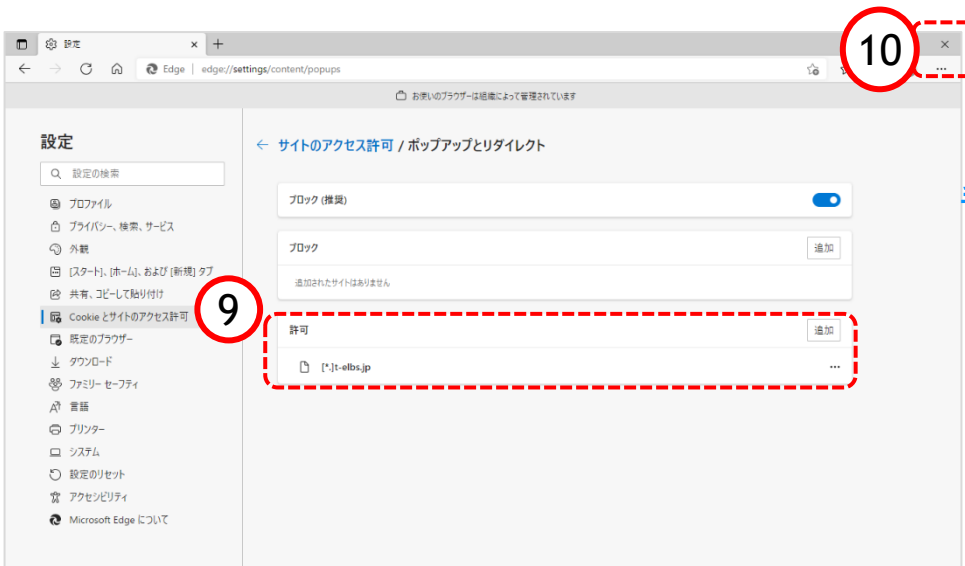


[: 左角カッコ

* : アスタリスク

] : 右角カッコ

⑧「追加」ボタンをクリックします。



手順⑥

ポップアップとリダイレクト画面に戻ります。

⑨『許可』欄に入力したアドレスが表示されていることを確認します。

⑩ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上でポップアップの許可設定は終了です。

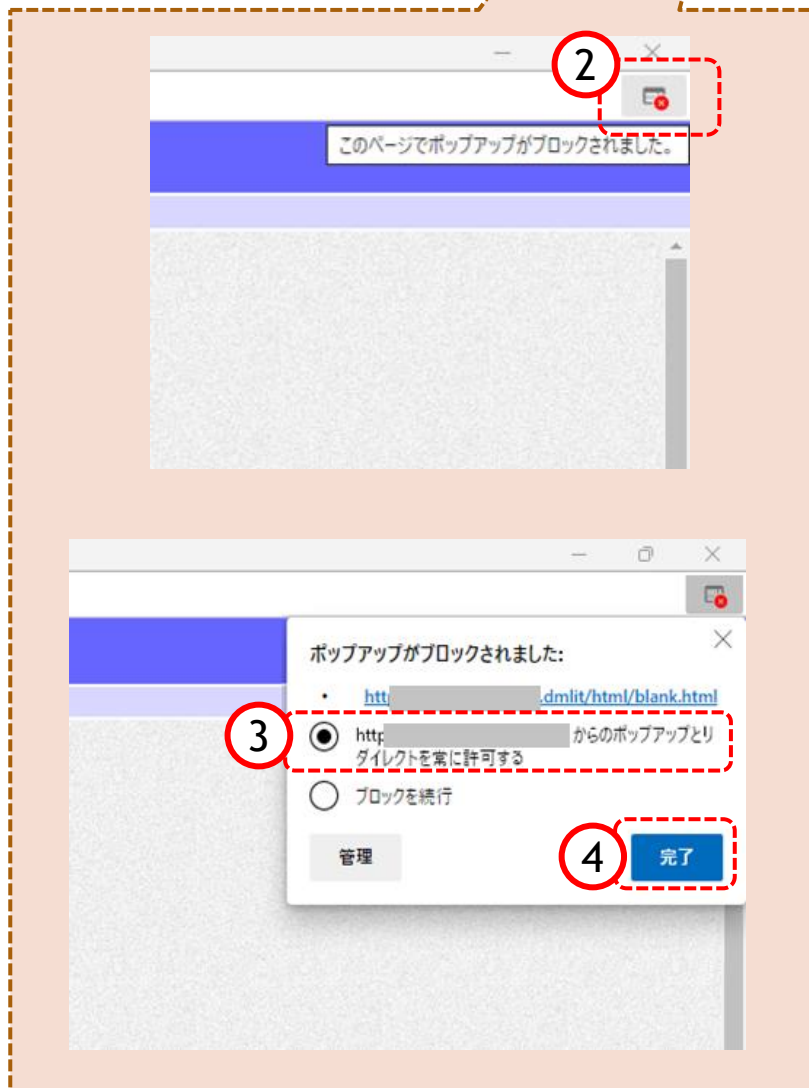


電子入札システム起動時に以下のエラーが表示された場合



電子入札システム起動時に左画面のエラーメッセージが表示され、右側にエラーマークが表示されている場合は、

- ① 「OK」 ボタンをクリックします。



②アドレスバーの右マークをクリックします。

③「~からのポップアップとリダイレクトを常に許可する」にチェックが入っていることを確認します。

④「完了」ボタンをクリックします。



6.お問い合わせ先

(1) ICカードやパソコンの環境設定に関すること

ICカードを購入した認証局にお問い合わせ下さい。(ご不明の場合は以下を参照下さい)

電子入札コアシステム対応認証局一覧

(五十音順)

民間認証局	URL
NTTビジネスソリューションズ(株) (旧(株)NTTネオメイト) TEL:0120-851-240	https://www.e-probatio.com/
(株)帝国データバンク TEL:0570-011999	https://www.tdb.co.jp/typeA/
(株)トインクス (旧東北インフォメーション・システムズ(株)) TEL:022-799-5566	https://www.toinx.net/ebs/info.html
日本電子認証(株) TEL:0120-714-240	https://www.ninsho.co.jp/
三菱電機インフォメーションネットワーク(株) TEL:03-6771-5108	https://www.diacert.jp/plus/

電子入札システムヘルプデスク(東芝デジタルソリューションズ株式会社)

電話番号	0570-000-516(ナビダイヤル)
電話受付時間	平日 9:00~12:00 13:00~17:30
内容	電子入札システム、入札情報サービスシステムの操作方法、不具合等の受付及び問合せに対する回答

★問合せ時のお願い★

- ご案内の前に、必ず**発注機関名事業所名、担当者様名、お電話番号**をお伺いしております。ご案内の情報に補足があった場合や、重要なお知らせがあった場合にすぐにご連絡ができるように努めておりますので、ご協力をお願いいたします。
また、パソコンの不具合などの場合は、パソコンのメーカー、OSの種類、インターネットブラウザの種類などもお伺いいたしますので、事前にお調べいただくとスムーズにご案内ができます。
- 電子入札に関わりのない、パソコンやネットワーク、その他ソフトウェアの不具合に対してはご案内できかねますのでご了承ください。
- ご案内する内容によっては他の部署や機関へお電話をおかけ直しいただく場合がございます。予めご了承ください。

(2) 電子入札の手続き書類や案件内容に関すること

奈良県 県土マネジメント部 建設業・契約管理課

電話番号	0742-27-7486
電話受付時間	平日 9:00~12:00 13:00~17:30